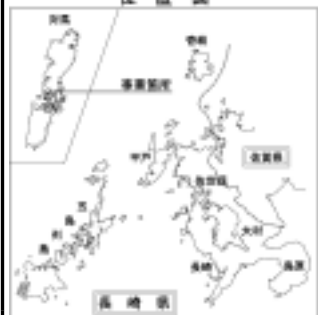
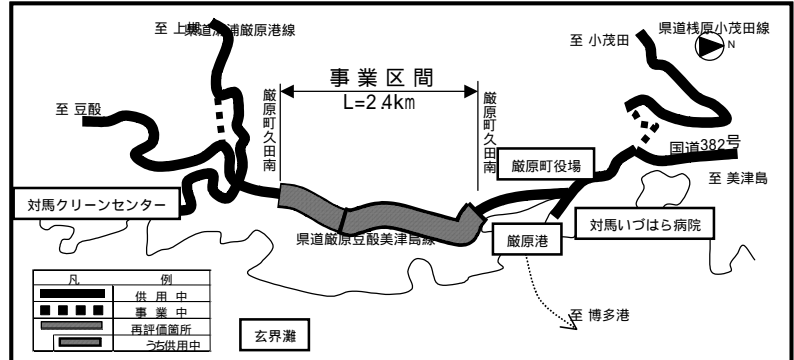


## 再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担 当 課：九州地方整備局 道路部 地域道路課  
 担当課長名：西川 勝義

<b>事業名</b> 主要地方道 <sup>いづはらうつみしま</sup> 厳原豆酸美津島線	<b>事業区分</b> 地方道	<b>事業主体</b> 長崎県	
<b>起終点</b> 自：長崎県 <sup>つしまし</sup> 対馬市 <sup>いづはら</sup> 厳原町 <sup>くみたな</sup> 久田南 至：長崎県 <sup>つしまし</sup> 対馬市 <sup>いづはら</sup> 厳原町 <sup>くみたな</sup> 久田南			<b>延長</b> 2.4 km
<b>事業概要</b> 主要地方道厳原豆酸美津島線は、厳原町から美津島町に至る延長約7.7kmの主要な幹線道路である。久田南工区は、国道382号と併せ対馬の下島を循環する道路の一部を構成し、トンネル1本、橋梁1橋を含む延長2.4kmの2車線道路である。			
H6年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H7年度用地着手	H8年度工事着手
<b>全体事業費</b>	30億円	<b>事業進捗率</b>	54% 供用済延長 0.8km
<b>計画交通量</b>	3,160台/日		
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C： (事業全体) 1.7  (残事業) 2.0	<b>総費用</b> ：(残事業)/(事業全体) 20/28億円 <b>事業費</b> ：20/28億円 <b>維持管理費</b> ：0/0億円	<b>総便益</b> ：(残事業)/(事業全体) 40/48億円 (走行時間短縮便益：37/45億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：0/0億円)
<b>基準年</b> ：平成15年			
<b>事業の効果等</b> ・物流効率化の支援（重要港湾(厳原港)へのアクセス向上が見込まれる） ・災害への備え（対象区間が緊急輸送道路ネットワーク計画(第二次緊急輸送路)の位置づけがある） 他9項目に該当(定量的評価箇所を含む)			
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 主要地方道厳原豆酸美津島線は、物流の効率化、交流の促進等に重要な役割を果たすことが期待されており、厳原町、美津島町の首長で構成される南部国県道整備促進期成会より整備促進の要望(平成13年7月)を受けている。			
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・平成14年12月に対馬全土のゴミを収集処理する対馬クリーンセンターが稼働し、当事業箇所を通過する大型車が増加している。			
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 平成14年度末まで、用地進捗96%、工事進捗54%、残事業については、未改良区間1.6kmの整備（難儀坂トンネル296m、難儀坂橋49m）			
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ：当工区の用地は共有地、筆界未定等が多く登記事務に非常に時間を要してきた。しかし、平成14年度には最後の筆界未定が確定し、H15年度に買収が可能となった。これにより、引き続き工事を進め平成18年度の完成を目指す。			
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・コスト縮減のため山間部の道路幅員を8mから7mに見直した。			
<b>対応方針</b> 事業継続			
<b>対応方針決定の理由</b> 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。			
<b>事業概要図</b>			
			

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

